



学部長

霜村 典宏

Norihiro Shimomura

新生の皆さん、入学おめでとうございます。また、保護者の皆さまにも、心よりお祝い申し上げます。

本年度もコロナ感染症対策に留意したスタートとなりました。このような状況下では友人づくりやサークル活動が制限され、学生の孤立が心配されます。しかし、ご安心ください。農学部は独自の充実した学生サポート体制を用意しています。それは、学級教員とチューター教員による「ダブルチューター制」です。

学級教員とチューター教員は、それぞれ学生と積極的にコミュニケーションを図りながら、学習面のみならず生活面に至るまで、きめ細かなサポートを実施します。教職員一同は、学生が「鳥取大学農学部で学んで本当に良かった」と実感できる環境を提供し、教育する所存です。

しかし、学生の成長をサポートするためには、教職員の力のみでは足りないのが現状です。保護者の方々との情報共有と連携したサポートがとても大切です。保護者の皆さまには、これまで以上のご理解とご協力をお願い申し上げます。

農学部

ダブルチューター制による学生サポート

新生の皆さん、そして保護者の皆さま、ご入学おめでとうございます。

「青は藍より出でて藍より青し」という有名な故事成語があります。これを学校教育に置き換えるなら、教え子が恩師の学識やスキルを超えることを意味するものと理解します。教育の本質はまさにここにあると思っています。教員の務めは、自分のミニチュアやコピーを作るのではなく、私たちを超える力量を備えた世の中に必要とされる人材を育成することであると信じています。

私の研究室では、この春に10名を超える学生が卒業・修了しました。それぞれが思い思いの文章で礼状を寄せてくれました。それらをご紹介できないのは残念ですが、恩師への感謝をこまごまの表現力をもって示すことは、当時の私にはできませんでした。教員冥利に尽きるとはこのことで、きっと彼らは世の中に必要とされる人になってくれることでしょう。

優れた人材の育成には保護者の皆さまのご協力も不可欠です。われわれ教職員と思いを一にして応援してくださいませよう。よろしくお願いいたします。

世の中に必要とされる人になる

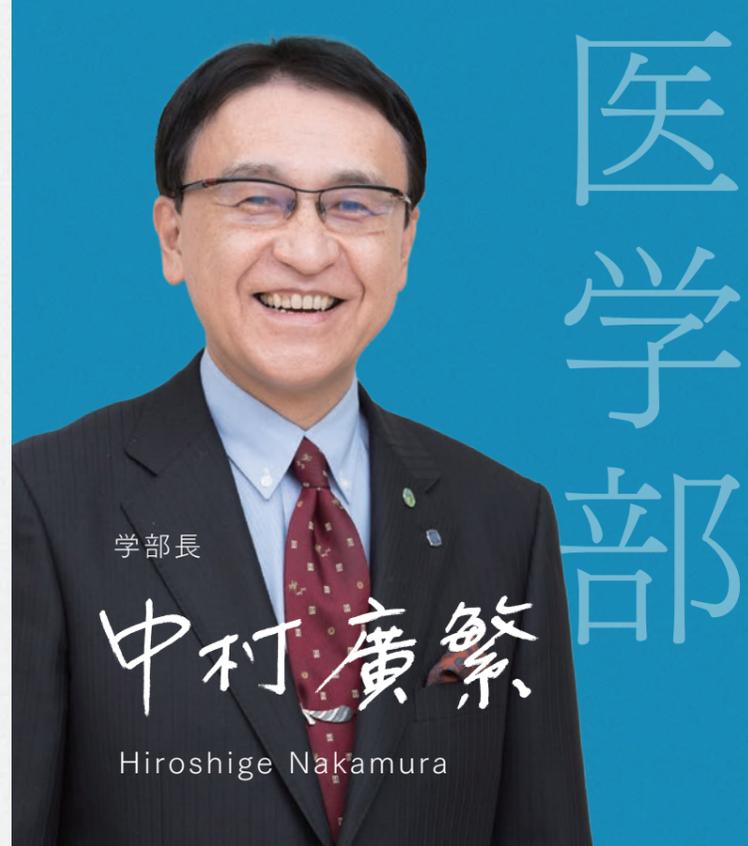


学部長

坂口 裕樹

Hiroki Sakaguchi

工学部



学部長

中村 廣繁

Hiroshige Nakamura

医学部

新生および保護者の皆さま、ご入学おめでとうございます。鳥取大学医学部は、鳥取県西部の商都・米子市にあります。この街は豊かな自然に恵まれ、白砂青松の弓ヶ浜半島から美保湾と大山を望む絶景には、思わず息をのまずにはいられません。じっくりと医学を学ぶには絶好の環境です。まさに、この地には「ここでしか学べない医学」があります。多くの試練で苦しいとき、疲れたときには、豊かな自然がいつでも皆さんの心を癒してくれるでしょう。

医学を学ぶことは未知への挑戦であり、感動の連続です。皆さんが体験することは、すべてが新鮮で、驚き、喜び、悲しみなど、いろいろな感情が沸き上がります。五感を澄まして、たくさんの感動を味わい、医学に最も大切な人間力を磨いてほしいと思います。自分の可能性を信じ、仲間を大切に、「ここでしか学べない医学」に積極的にチャレンジしましょう。私たちは、皆さんが立派な医療人になるための礎である大切な時間を、全力で支援します。

「ここでしか学べない医学」に挑戦しよう



学部長

岸本 寛

Satoru Kishimoto

地域学部

新生の皆さん、保護者の皆さま、ご入学おめでとうございます。新たな生活に期待を膨らませておられることと思います。

今、新型コロナウイルスが世界を脅威にさらしていますが、私たちが暮らす「地域」でも新たなステージに向き合うことが求められています。地域学部は、こうした諸課題や人々の願いに応えるためにさまざまな知識を集め、組み合わせ、経験を通して地域や社会に貢献する実践力に高めることを目指しています。

学生の皆さんは、挑戦する気持ちと多様な知を積極的に取り込み活かしていくという意欲さえあれば、いろいろなことができます。地域学部は、講義のほかに、地域実習や海外フィールドワークなど、鳥取だけでなく、県を越え、国を越えて学び体験する機会を提供しています。学び続ける力、地域や海外での現地感覚・現場感覚、さまざまな人びとと協働して地域社会を創っていくことは、一生の財産になります。地域学部の学びのなかで、ぜひ新しい自分を発見してください。

新たなステージに向き合える社会的実践力